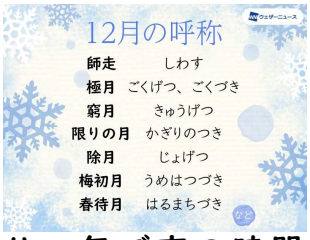
海陽だより

荒尾海陽中学校
第１３号（R6.12.19）
「挑戦！一歩前進」

文責：校長



早いもので、本年度の四分の三を終え、あと十日余りで今年も終わろうとしています。

12月は左のようなにいろいろな呼称がありますが、一般的に「しわす」と呼ばれています。「師走」の由来は、僧侶のような普段落ちついている人でも、この月は多忙で走り回るようになるという意味から名付けられたという説があります。また、12月には◆冬至（とうじ）があり一年で夜の時間が最も長くなる日で、今年は１２月２２日（日）です。

この日を境に昼の時間が長くなり、春に向かうことになります。冬至にカボチャを食べ、柚湯に浸かると風邪をひかないという言い伝えがあり、その風習はいまなお残っています。

一方、◆大晦日（おおみそか）は、一年の最終日の１２月３１日。新しい年に神様を迎えるために寝ないで待つ日とされ、早く寝ると白髪になるとの言い伝えがあるようです。大晦日の夜のことを除夜といい、神社では火を焚いて厄祓いの神事を行ったり、お寺では年をまたいで除夜の鐘をついたりと、さまざまな年越しの行事が各地で行われています。

研究発表会

１１月２０日水曜日に令和５・６年度荒尾市教育委員会指定「生徒指導」研究推進校荒尾海陽中学校研究発表会を行いました。荒尾玉名管内の先生方やご来賓の方々、荒尾市教育委員会の方々等約１３０名来校され、授業公開と研究の成果を発表しました。

授業では、１年１組「数学」と２年３組「道徳」、３年１組「総合的な学習の時間」を公開しました。参観者が多く、教室には入れずに廊下で参観する先生方も多くいらっしゃいました。どのクラスの授業も、一人一人が自分の考えを持ち、それを共有し、学びを深めていく素晴らしい授業でした。

「シンガポール歓迎茶会」

１１月２１日木曜日にシンガポールから来日し、荒尾市を訪れた光中学校（年齢は１５歳～１６歳の生徒に本校茶道部の子どもたちがお茶を振る舞いました。シンガポールの生徒も笑顔で作法を聞きながらお茶をおいしく飲んでいました。おかわりする生徒も多く、大好評でした。来年度は、荒尾市の中学２年生がシンガポールへ行き、文化の交流を行う予定です。

北朝鮮拉致問題解決に向けた講演会

１２月８日（日）に標記の講演会がホテル熊本テルサで行われました。木村熊本県知事のお話から始まり、拉致被害者のご親族の方からのメッセージなど、とても学ぶことが多い講演会でした。講演会の最後に、３年生の　　さんと　　さんが、この北朝鮮拉致問題についての意見発表をしてくれました。２人とも堂々とした態度で立派な発表でした。また、多くの方からお褒めの言葉をいただいていました。

自分の子どもやきょうだいが拉致されて、突然いなくなったらと思うと、いたたまれない気持ちと怒りを感じました。拉致被害者５名の方の解放から２２年間、その後の動きは何もありません。私たちにできることは何かと考えたとき、この思いをみんなで共有し、一日も早く解決を願うことしかできません。一緒に聞いた　　さんや　　さんもとても勉強になったと思います。

～新生！荒尾海陽中学校生徒会～

１１月２６日火曜日に生徒会役員選挙が行われました。次世代の学校のリーダーを決める重要な一票となるため、厳粛な中で一人一人真剣に立候補者の演説を聴いていました。立候補者も、自分の考えや強い意志を言葉にし、立派な演説をしていました。この生徒会役員選挙に手を上げるというこの「挑戦」が素晴らしいと思いました。きっと立候補した全ての人たちが、来年度の荒尾海陽中学校を引っ張っている核になる人たちだろうと確信しました。そして投票。次の日に発表があり、１２月２日月曜日に生徒会役員引き継ぎ式が行われました。旧役員には『感謝状』を新役員には『委任状』を手渡しました。旧役員の5名からは、一人一人が達成感に満ちあふれるお礼の言葉を言いました。旧役員の5名のみなさん、本当にお疲れ様でした。

新役員からは　　君から決意表明の言葉を聞くことができました。新役員の会長の　　さん、副会長の　　さん、　　さん、書記の　　さん、　　さん、一年間よろしくお願いします。

２年生の修学旅行

12月12日から３日間、２年生は、京都に修学旅行に行ってきました。最近は、インターネットで色々な情報を習得でき、京都のことも詳しく知ることができます。しかし、百聞は一見にしかず。実際に行き、見て、空気を感じて、触れることは、インターネットでは学べないことです。また、友達と一緒に行動することでの学び、一緒の釜の飯を食うことでの一体感、自分たちで計画し、迷いながらも目的地を発見して回る主体性など、多くのことを体感し学びを深める修学旅行であったと思います。この修学旅行を通して、クラスの絆も深まったのではないでしょうか。数名インフルエンザにかかった人はいましたが、何よりも、大きなけがもなく無事帰って来れたことをうれしく思います。一生の思い出に残る修学旅行でした。計画をしていただいた学年部の先生方、送り出していただいた保護者の方々に感謝します。ありがとうございました。

【おしらせ】

インフルエンザが、どの学年でも流行してきています。特に２年生が修学旅行以降増えており、今週１クラス学級閉鎖も行いました。感染拡大防止のために、教室の換気も常に行っているところですがマスクを付けるようにお願いします。また、帰宅後の手洗い、うがいも効果があると産業医の先生からもご指導がありました。

それに伴い、２０日（金）に予定していました校内駅伝大会を２４日（火）に延期します。また、本日行いました警察署からの SNS 関連の講話や２３日（月）の冬休み前集会も各教室でのリモートで行います。

皆様にとって、今年はどんな年だったでしょうか。やって良かったこともあれば、失敗してもう繰り返さないと思ったこともあるかと思います。失敗は誰しもあります。失敗するから人間は成長します。だから失敗しても挑戦し続ける「Trial and error」を荒尾海陽中では言い続けています。

私は、これまで失敗をいっぱいしてきました。その中で、先輩からいただいた教訓があります。それは、「するかしないか迷ったときは、やるべきだ。」ということです。以前、あることで判断に迷ったとき、しない選択をしました。その結果、叱責をいただき、大後悔したことがありました。そのときにいただいた言葉です。加えてその先輩が言われました。「やって失敗するよりもやらなくて失敗した方が後悔が大きい。どうせ後悔するならやって後悔した方がいい。」と。それから先、私は迷ったら実践するようにしています。

それではみなさん、よいお年をお迎えください。